

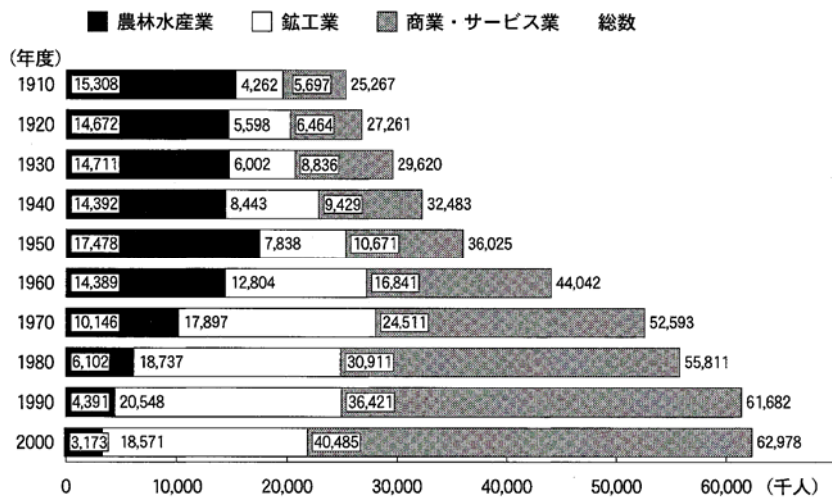
# 強者の戦略

こんにちは、日本史の岡上です。いよいよ、受験本番のシーズンになりましたね。これを読んでくれているあなたが受験生なら、今頃は一心不乱に勉強に励んでいることでしょうし、受験生でないのなら、なんとなく先輩の慌ただしい様子を感じ取っているのではないのでしょうか？

さて、「東大日本史のみかた」も今年度最終、4回目となりました。前回に引き続き2009年の東大日本史の第4問を取り上げてお話をしていきたいと思えます。さあ、1週間、しっかり問題を考えてみてください。

## 【2009年度 東京大学 文科前期 第4問】

次の図は日本における産業別15歳以上の就業者数の推移を示したものである。この図を手がかりとして、下記の設問に答えなさい。



図

1920年度以降は『国勢調査』、1910年度は『労働力(長期経済統計2)』の大川推計による。

1920年度以降の総数は分類不能の産業を含む。

### 設問

高度経済成長期以降の農村では、機械化や農業の利用によって省力化が進み、農業就業者が急激に減り、現在では後継者の確保や集落の維持が困難な例が生じている。昭和恐慌の際にも、現在とは異なる「農村の危機」が問題となっていたが、その内容と背景を、5行以内で述べなさい。なお、解答には、下に示した語句を一度は用い、使用した語句には必ず下線を引きなさい。

失業者    農村人口    米価    養蚕